

《 卒業生は今 》

— 漁業に就職して感じたこと —

漁業高等学園では、昭和45年の設立以来、昨年度までの卒業生は902名に達し、様々な漁業で活躍しています。そこで、卒業生が、今、どんな漁業に携わっているのか、就業してどんな感想を持ったかなど、紹介します。

No.31 Hくん (平成28年3月卒・航海専攻・現20歳) 遠洋まぐろ延縄漁船

Q. 仕事の内容は？

- * 投縄（3日に1回）と揚縄（毎日）の甲板作業を行う。
- * 揚縄では、ブラン*出し（ブランをコンベヤーに流す）、ハリに餌付け、幹縄にスナップ付け、海へブランの投入を行う。
- * 揚縄では、ブランたぐりを行う。
- * 港と漁場の間を航海する時は、ブリッジでワッチ（2時間）を交代で行う。
※ブラン：枝縄のこと。一回の操業で2500本くらい使用する。

Q. 大変なことは？

- * ブランたぐりで、きれいに早くたぐるのが難しい。

Q. 良いこと、楽しいことは？

- * 操業が休みの日に部屋でDVDを見たりすること。
- * クジラが見られること。

Q. 学園在学中の思い出は？

- * 1か月間の乗船実習でカツオの一本釣りをやったこと。

Q. 学園で学んだ（身に付けた）ことで、現場で役立っていることは？

- * ロープワークやブランたぐりが役立っている。
- * マグロ縄の七本刺しを使う。

☆. 在校生へのアドバイス

- * 体力や筋力を身に付けること。
- * 海技士資格（四級）を取ること。

(平成29年4月4日)